



# SAIJO LIONS CLUB

# 西条

No.501

2018-2019

3月号

わたしたちは、社会に奉仕する世界最大の団体です

ライオンズクラブ国際協会 336-A地区  
第65回 地区年次大会  
〈西条大会〉

日程 2019年4月6日(土)  
4月7日(日)  
会場 西条市総合文化会館

会長スローガン [ 一緒に 懸命に WE SERVE ]

キーワード [ 共 生 ]

ライオンズクラブ国際協会 336-A地区  
2R4Z 西条ライオンズクラブ会報誌  
活動内容はこちらから →



テーマ 「 We Serve 」



2018-2019 年度 336-A 地区

スローガン 「 Service Activity is the key to Lions Clubs 」

(ライオンズクラブのキーは奉仕することである)

2018-2019年度 ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区ガバナー

関野 邦夫

キーワード 「 No try No change ! 」



.....

献血のこと

島津穰平（兵庫県・神戸葺合）

私が献血を始めたのは、もう60年以上も前になります。弟がオートバイに乗っていて他の車と正面衝突し、病院にかつぎ込まれたのです。警察から電話があり、大急ぎで病院へ直行。弟は衝突の際、腹部を強打し内出血、ムラサキ色でパンパンになっていました。医者によると「かなりの輸血が必要だが、今、日本赤十字（日赤）に在庫が無い」とのこと。私と血液型が同じだったので、私の腕から採血し弟の体内へ注入。これを何度も繰り返し、私はフラフラ・・・・・・。幸い弟の手術はうまくいってヤレヤレ。

それから1年余り後、大阪の枚方に住んでいた姉が急に内臓の手術で輸血が必要になりました。「今、日赤に在庫が無い」との電話があり、病院へ直行。この時も私の腕から採血、姉の体内への輸血を繰り返し・・・・。手術は予定通り進行し、私は明け方、神戸へ帰りました。またも私はフラフラ・・・・。次の日、私は考えました。「事故や病気で急きょ輸血が必要になった時、日赤にも在庫がなく、同じ血液型の身内も居なければ、他に方法が無くなってしまう。」献血の大切さを身をもって理解したのでした。

それ以来、数週間に1度ずつ献血を続けました。年齢制限で採血してもらえなくなるまで、約48年間続きました。今、手元には、平成15年1月11日の日付で、400ミリットル献血164回の献血手帳が残っています。妻も毎度献血に同道してくれましたが、女性の方が日赤で定められた年間献血回数が少ないことから、毎回私と一緒に採血とはいかず、400ミリットル献血は43回の献血手帳が残りました。

「先天性腎炎」。私が赤子の頃に、近所の小児科の先生に付けられた病名です。小さい頃は病弱で、具合が悪くなると母親が私をおぶってその小児科へ行ったものでした。先生曰く「この子は三つまで育たん・・・・。」何度も何度もそう伝えられたと、母親がよく言っておりましたのを、今でもよく覚えています。それが何と今年で満80歳。世の中分からぬものです。

日赤職員の話では、血液不足の状態が慢性的に続いているとのこと。血液センターへ行っても、若い女性はよく見掛けるのですが、若い男性はついぞ見たことがありません。血の気の多い若い男こそ、こぞって献血して欲しいと思うのですが、この世の中、なかなか思うようにはいかないものです。若い元気な男たちを血液センターへ向かわせる、良い方法は無いのでしょうか？

かくいう私自信は、80歳になる今まで一度も輸血を受けたことがありません。事故にも遭わず、大きな病気にもならず、幼少の頃は病弱だった私を丈夫な身体に育ててくれた親に感謝する今日この頃です。ここで、日赤兵庫支部推進課で頂いた資料から重要な一言！

「血液ピンチ深刻に 27年度必要量ピークに85万人分足りず」

.....

.....上記は以前読み、心に残ったライオン誌掲載記事より抜粋したものです.....武智

前刊、クラブ会報誌発刊 500 号を記念し、歴代のクラブ会長をここで振り返りたいと思います



## 歴代会長



初代/2代 白石 基



3代 戸田 進



4代 赤松 寛



5代 藤井 弘



6代 渡辺 親一



7代 内田 武



8代 加藤 敬



9代 久保 哲



10代 徳増 正夫



11代 堀池 楽次郎



12代 中須 春雄



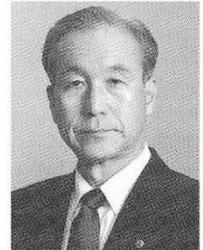
13代 和田 新一



14代 松原 功



15代 二宮 恒一



16代 高橋 山郎



17代 真鍋 公



18代 塩崎 徳一



19代 伊藤 諭



20代 佐伯 継一郎



21代 青木 一



22代 工藤 義昭



23代 稲井 一穂



24代 坂田 昌英



25代 西原 功



26代 藤田 正男



27代 藤田 一軌



28代 吉峯 秀則



29代 山崎 常行



30代 篠原 秀幸



31代 高岸 義明



32代 木下 日出男



33代 定岡 正



34代 瀬川 大秀



35代 村上 修蔵



36代 神野 顕彰



37代 寺田 了三



38代 加藤 茂



39代 塩崎 己年夫



40代 松浦 裕



41代 花山 志郎



42代 伊藤 修一郎



43代 藤田 公道



44代 村上 公明



45代 十亀 興美



46代 加藤 誠也



47代 野田 明利



48代 寺川 治美



49代 寺尾 信司



50代 徳増 達史



51代 明比 紳一郎



52代安藤憲正



53代原 育雄



54代伊藤正己



55代高橋 学



56代今岡正士



57代植木光夫



58代森下雄一

数年前までは、歴代会長の写真がクラブ事務局の壁一面を飾っていましたが、先輩方にいつも見守られているような、睨まれているような・・・、今では懐かしい光景です。

■ 京都 正法寺 様より頂いた文章です

越智英明

### 亥 (い)・猪

十二支の最後、時刻は午後九時から十一時、方位は北北西。季節は晩秋・・・。

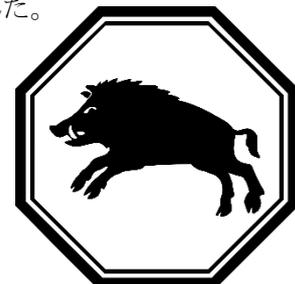
「亥」は関（がい・とじる）の意味で、草木の果実が堅い核を形成し種子が地中に入り翌年の春に向けて芽を出すエネルギーを蓄える季節とされる。

昔、神様が「元旦の朝、私の所へ挨拶に来た動物から順に十二番目までを十二支として使うことにする」と言いました。イノシシは早く着いていたが、勢いよく走りすぎ、神様の門を通り過ぎてしまい、引き返して来たため最後になってしまった。他の動物に順番を譲っているうちに十三番目になったイタチとネズミに騙され一日遅れで来たネコは神様が気の毒がって十二支でなくイタチには毎月の初めの日「つ・イタチ」、そして猫には時刻の単位「猫（びょう・秒）」を与えたそうです。

十二支が中国から伝来したとき猪はブタであったが日本ではイノシシとなってしまった。ブタはイノシシを家畜化したもので、弥生時代に北九州を中心にブタを飼育したことがあるらしいが、森林が豊かな日本ではイノシシが普段から譲れるため家畜化の習慣が値付かなく、ブタの存在を知らなかったため猪（ブタ）が野猪（イノシシ）となってしまった。

山鯨とも呼ばれ滋養強壯の食材とされた猪は水揚を探す動物であり火除け防災の守り神として信仰され、多産であることから無病息災・子孫繁栄の象徴とされた。

山野を駆け回り飛び跳ね、勇猛と豊穰の象徴であり山の神でもあるイノシシにあやかり本年も物事がトントン拍子にいく年でありますように。





今岡正士

これまで見た数ある映画の中で、私が子供のころ1976年に日本で公開されたベンジーという映画が一番印象に残っています。

ある1匹の野良犬ベンジーの活躍を描いた冒険映画でごく単純なものです、犬好きの私としては感動して、つい涙したのを思い出します。

物語は、野良犬ベンジーが街はずれの空き家に棲み、気ままな生活を送っていた。近くに住むチャプマン家のポールとシンディの幼い兄妹と家政婦のメアリー、カフェの主人ビルや、黒人の警官タトルに可愛がられていた。幼い兄弟と友達になったベンジーは彼らのもとの飼われることになった。ある日、幼い兄弟のポールとシンディが何者かに誘拐されてしまう。ベンジーは二人を救うため、人間顔負けの捜査を開始する。一刻も早く助けを求める為に必死で走るベンジーの姿が愛くるしくて感動の作品です。

また、挿入歌のI Feel Loveも素晴らしい曲です。

今年リメイク版が出ているようなので、もう一度見てみたい作品です。

## 編集後記



寒い毎日、仰ぎ見る霊峰石鎚山は真っ白です。その寒中にも、梅は紅白の、河津桜は三分咲きの花を見せてくれ、ソメイヨシノの小枝の先は膨らむ準備か、張りつめています。この黒い木の中に芽生えるきれいな花の蕾、実に不思議な気がします。

年を重ねる毎に寒さが厳しく感じられ、春の到来を待ちわびています。あとひと月後には、桜も満開でしょうね。

同時に、弥生三月は木の芽時、体調にも気を付けて、仕事に、ライオンズ活動に頑張っておごしてまいりましょう。

MC・広報委員長 武智正人

アメリカに新しいヒーローが誕生した  
名まえはベンジー

……いま、愛を運んでやってくる……



## 西条ライオンズクラブ

発行者 会長 森下雄一  
 幹事 瀬川寛清  
 PR・広報委員長 武智正人  
 編集委員 村瀬文隆・越智英明・藤田公道  
 日吉洋二・盛實正人・曾我部克正  
 例会日 毎月 第1・第3火曜日 (12:30~13:30)  
 例会場 西条商工会館  
 発行 西条ライオンズクラブ事務局  
 印刷 プリントワールド ONO

〒793-0027 愛媛県西条市朔日市779-8  
西条商工会館3F

TEL(0897)56-3980

FAX(0897)56-9251

E-mail [saijo-lc@beam.ocn.ne.jp](mailto:saijo-lc@beam.ocn.ne.jp)

ホームページ <http://saijo-lions.jp>

facebook

<http://facebook.com/saijo.lions/>